

『みちのとも』誌の記事

著者名	論文名(タイトル)	号数	掲載頁数
中山 正善	おさしづの意義	昭和4年8月20日号	4
植田 英蔵	おさづけについて 1-4	昭和22年5月号-8月号	
柏木 大安	みかぐら歌の考察 1-3	昭和22年8月号-10月号	
植田 英蔵	お書き下げ私解 1-3	昭和22年9月号-11月号	
岸 義治	みかぐら歌に現われた時の観念	昭和23年4月号	14
金子 圭助	自己の神 1-5	昭和23年7月号-12月号	
林 功	必然と自由について	昭和23年12月号	3
高野 友治	おさしづに現れた女性・夫婦観	昭和24年12月号	4
高野 友治	ひながた私観	昭和25年2月号	29
森山 一	親神・神名・God	昭和25年2月号	45
斎藤 辰雄	おふでさきと教典 1-3	昭和25年3月号-5月号	
植田 英蔵	ぢばの理 1-2	昭和25年8月号-9月号	
植田 英蔵	教会の理 1-4	昭和25年11月号-12月号	
榊井孝四郎	おさしづに現れたる教祖年祭について 1-4	/同26年1月号/3月号	
榊井孝四郎	おさしづに現れたる教祖五年祭について 1-3	昭和27年5月号-8月号	
深谷 忠政	勤労の喜び	昭和27年9月号-11月号	
田邊 教一	本教のたすけとは	昭和28年2月号	36
橋本 武	ひのきしん談義	昭和28年4月号	77
深谷 忠政	お道の生命	昭和28年4月号	34
生駒 藤雄	陽気ぐらしの転回点	昭和28年8月号	41
田中喜久男	因縁の教理	昭和28年9月号	22
高野 友治	生れ変りの上から思案	昭和28年9月号	16
田邊 教一	因縁と夫婦の愛情について	昭和28年12月号	18
諸井慶五郎	教会の在り方に就いての素見	昭和28年12月号	26
諸井 慶徳	天理教の本質 1-16	昭和29年2月号-30年9月号	30
小野 清一	本教の子弟教育について	昭和29年2月号-30年9月号	
岸 義治	本教の子弟教育について	昭和29年3月号	54
中島 秀夫	本教のひのきしんとは	昭和29年5月号	64
上村福太郎	本教布教の特異性	昭和29年6月号	51
中山 正善	お道の女性観	昭和29年8月号	44
沢田又太郎	天理教における神観念について	昭和29年12月号	247
柴田 正一	教会の運営について	昭和30年3月号	49
榊井孝四郎	一般教会の制度の変遷	昭和30年3月号	54
矢持 辰三	教会の陽気ぐらし	昭和30年3月号	42
今西国三郎	教祖様のひながた	昭和30年4月号	48
高野 友治	にをいがけの道	昭和30年5月号	44
高野 友治	にをいがけ物語	昭和30年5月号	48
「みちのとも」 編集部編	おさしづ春秋 1-9	昭和31年1月号-11月号	
田邊 教一	教典読本 1-12	昭和31年1月号-32年3月号	
鈴木 亨	節から芽を吹く	昭和31年1月号-32年3月号	
諸井慶五郎	教会の意義と使命	昭和31年3月号	30
諸井 慶徳	教祖伝稿案拝読のてびき	昭和31年6月号	44
矢持 辰三	教理から見た肉親の親子について	昭和31年6月号	60
中山 正善	こどもおぢば帰り	昭和31年7月号	28
上原 義彦	「別席」について	昭和31年9月号	2
土佐 元	「よふぼく」について	昭和31年10月号	22
松隈 青壺	よふぼくの在り方	昭和32年3月号	34
榊井孝四郎	どん底と陽気ぐらし	昭和32年4月号	42
松隈 青壺	「なるほどの人」とは	昭和32年5月号	20
白藤義治郎	長々の細道	昭和32年8月号	36
堀越 義男	九分一分の理	昭和32年9月号	24
今村英太郎	よふぼくの本領	昭和32年12月号	24
小野 靖彦	家庭愛情について 1-2	昭和33年1月号-2月号	
深谷 忠政	家業について	昭和33年3月号	18
榊井孝四郎	「身上さとし」について	昭和33年4月号	18
中山 正善	「つくしはこび」について	昭和33年5月号	25
橋本 正治	播かれた種の修理・肥	昭和33年7月号	2
鈴木 亨	「ふし」について	昭和33年7月号	56
今村英太郎	普請について	昭和33年8月号	58
土佐 元	「たんのう」と「親切」の一考察	昭和33年9月号	18
田邊 教一	「教会」について	昭和33年9月号	5
中山 正善	「教会長」について	昭和33年10月号	14
橋本 武	おふでさきに現われた天理教祖の伝道精神	昭和33年10月号	6
永尾 廣海	にをいがけについて	昭和33年11月号	12
中山 慶一	二代三代の青年について	昭和33年12月号	22
中山 慶一	御伝講話 1-3	昭和34年1月号-3月号	

『みちのとも』誌の記事

著者名	論文名(タイトル)	号数	掲載頁数
上田 嘉成	おふでさきに急込まれたるたすけ一条 1-8	昭和34年1月号-8月号	
榊井孝四郎	身上かしものかりもの	昭和34年2月号	18
		昭和34年4月号-35年3月号	
上田 嘉成	御伝講話 4-15		
岸 勇一	教学の理念私観	昭和34年5月号	40
喜多 秀義	信条教育とは	昭和34年5月号	43
永尾 廣海	「道と教育」私考	昭和34年5月号	46
宇野たき彥	いちみぐらし	昭和34年7月号	40
増井 常信	神一条の生涯	昭和34年7月号	42
土佐 元	修理肥の教理について	昭和34年11月号	40
中山 正善	天理教教義における言語的展開の諸形態	昭和35年11月号	2
榊井孝四郎	おさづけの理 (1) おさづけは道の路銀	昭和36年1月号	18
榊井孝四郎	おさづけの理 (2) おさづけは国のみやげ、国の宝	昭和36年2月号	27
橋本 武	おさづけの理 (3) 一れつすます親心	昭和36年3月号	12
橋本 武	おさづけの理 (4) 親の思慮と子の成人	昭和36年4月号	11
高橋 道男	今後の海外伝道	昭和36年6月号	27
榊井孝四郎	おさしづに現われた教祖一年祭 1-4	昭和36年8月号-11月号	
榊井孝四郎	おさしづに現われた教祖五年祭 1-4	昭和37年1月号-4月号	
高野 友治	海外伝道者物語 1-5	昭和37年1月号-5月号	
榊井孝四郎	おさしづに現われた教祖十年祭 1-5	昭和37年5月号-9月号	
榊井孝四郎	おさしづに現われた教祖二十年祭 1-2	昭和37年11月号-12月号	
矢持 辰三	おさしづとふしん 1 こどもの心の成人の姿	昭和38年1月号	44
金子 圭助	おさしづとふしん 2 陽気ふしんの親心	昭和38年3月号	28
松岡 国雄	信仰と学問	昭和38年3月号	48
松隈 青壺	おさしづとふしん 3 しんじつの心を受取るためのふしぎふしん	昭和38年4月号	38
岸 義治	おさしづとふしん 4 形のふしんは心のふしん	昭和38年5月号	58
高野 友治	初代真柱様の御生涯	昭和38年12月号	16
生駒 藤雄	人間完成の道	昭和39年 2月号	33
松隈 青壺	結婚・夫婦への道	昭和39年2月号	28
土佐 元	つくし・はこび	昭和39年9月号	18
		昭和39年9月号-40年4月号	
松岡 国雄	病さとしのいろいろ 1-8		
中山 慶一	ひながたに拝するにをいがけ、おたすけ	昭和40年10月号	30
深谷 忠政	原典への道	昭和41年4月号	27
山本久二夫	原典とその対し方	昭和41年4月号	246
榊井孝四郎	天理教の夫婦観	昭和41年5月号	74
田邊 教一	本教の文書布教について	昭和42年4月号	17
山澤 秀信	少年会の使命	昭和42年6月号	28
矢持 辰三	「よふばくの心得」の角目について	昭和42年9月号	13
上田 嘉成	原典の本義	昭和43年4月号	16
山本 利雄	教祖に教えられた愛をみつめて上・下	昭和44年10月号-11月号	
矢持 辰三	たんのうの教理	昭和44年12月号	58
		昭和45年7月号-47年4月号	
深谷 忠政編	いさみの神学		
上田 嘉成他	平和への提言	昭和45年12月号	14
中山慶一/上田嘉成	平和への提言	昭和45年12月号	14
橋本 武	おふでさきに学ぶ 第一号概説-第六号(未完遺稿)	昭和46年1月号-6月号	
上田 嘉成	稿本教祖伝を拝す 第1章-第10章概説	昭和47年1月号-12月号	
芹澤 茂	おふでさきに学ぶ 第六号概説-総括概説	昭和46年6月号-12月号	
山本久二夫	ふしんについて 1-3	昭和47年8月号-10月号	
上野利一郎	「ひのきしん」に関する文献目録	昭和49年1月号	78
坊 芳春	心遣いといんねん	昭和49年9月号	18
小松駒太郎/飯降 俊彦他	ちば定め百年(対談) 1-5	昭和50年6月号-10月号	
岩田 春雄	マールブルク天理教展覧会報告書-海外伝道に問題提起も	昭和50年9月号	44
笹倉 紘	「一れつ兄弟」を口にする時	昭和50年12月号	42
高野 友治	地方産業の発展と天理教	昭和51年9月号	38
山本久二夫/中島秀夫	おさしづに道すがらを味わう 1-33	昭和51年11月号-54年10月号	
山本 利雄	尊厳死と安楽死	昭和52年1月号	52
小野 清一	別席について	昭和52年2月号	10
「みちのとも」編集部	「お誓いの言葉」の解説	昭和52年2月号	16
矢持 辰三	先人に学ぶちばへの伏せ込み	昭和52年8月号	45
大久保昭教	天理教社会福祉考	昭和52年9月号	8
		昭和52年9月号-53年4月号	
高野 友治	アメリカの伝道者たち 1-8		

『みちのとも』誌の記事

著者名	論文名(タイトル)	号数	掲載頁数
古谷 秀三	フランスに於けるお道の文化活動について	昭和52年10月号	36
上田 嘉成	「元の理」について	昭和53年9月号	36
蔵内 数太	「元初まりの話」について上・下	昭和53年11月号-12月号	
山本 正義	おたすけと福祉	昭和54年1月号	36
矢持 辰三	教理覚え書 1-12	昭和54年1月号-12月号	
川内 俊彦	差別と市民生活	昭和54年9月号	44
木尾 春彦	天理教と文学者 1-終	昭和55年1月号-同58年3月号	
中島 秀夫	天理教と文学者 1-終	昭和55年11月号-56年8月号	
中島 秀夫	教理研究ノ		
中島 秀夫	天理教教義学とは〔教理研究ノート1〕	昭和55年11月号	26
中島 秀夫	天理教の神観1〔教理研究ノート2〕	昭和55年12月号	19
中島 秀夫	天理教の神観2〔教理研究ノート3〕	昭和56年1月号	16
中島 秀夫	天理教の神観3〔教理研究ノート4〕	昭和56年2月号	36
中島 秀夫	天理教の啓示論1〔教理研究ノート5〕	昭和56年4月号	20
中島 秀夫	天理教の啓示論2〔教理研究ノート6〕	昭和56年6月号	28
中島 秀夫	天理教教済観の基礎構造 おつとめと心の入れかえ〔教理研究ノート7〕	昭和56年7月号	20
中島 秀夫	死即出直の論理 天理教教済観の特色をもとめて〔教理研究ノート8〕	昭和56年8月号	32
金子 圭助	形の普請は心のふしんの投影	昭和56年9月号	55
澤井 勇一	「みちのだい」と女性の立場	昭和57年10月号	12
「みちのとも」 編集部	真柱「道の台」語録	昭和57年10月号	10
木尾 春彦	教祖に魅せられた文学者たち	昭和59年4月号	45
上田 嘉成	天理教教典一部改訂について	昭和59年5月号	37
澤井 勇一	人たすけたらわがみたすかる	昭和59年6月号	26
天理教同和推進 委員会	雑誌「陽気」差別事件に関する回答書	昭和59年6月号	53
中島 秀夫	原典に見る平和への道	昭和59年8月号	34
矢持 辰三	補い合い溶け合って一つに	昭和59年9月号	7
金子 正	信仰の原点を求めて	昭和59年10月号	30
橋本 武人	音楽と舞踊の意味するもの	昭和59年10月号	22
金子 圭助	おさしづに見るつとめ	昭和59年11月号	32
佐藤 浩司	おふでさきによるおつとめ考	昭和59年11月号	26
「みちのとも」 編集部	おつとめ年表(おぢば周辺変遷図)	昭和59年11月号	6
伊橋 房和	つぎ足しは心次第	昭和59年12月号	46
松田 武輝	元の理とひながた	昭和60年1月号	16
矢持 辰三	道の婦人像	昭和60年4月号	22
塩谷 寛	理を振るおてふり自問自答三題 1-4	昭和60年4月号-7月号	
矢持 辰三	おさしづの中の婦人像 1-12	昭和60年5月号-61年5月号	
山本久二夫/中 島 秀夫	誠という思案	昭和61年2月号-62年1月号	
飯降 俊彦/平 木 一雄	対談 百日のおさしづ 1-30	昭和63年7月号-立教15年12月号	
田邊 教一	教理に見る同和問題	昭和63年8月号	14
宮田 元	教理と文書布教	昭和63年9月号	4
道友社編集部	ひながた紀行 1-21	立教152年4月号-立教15年12月号	
池田 士郎	労働、神のはたらきを働く	立教153年10月号	10
深谷 忠政	おふでさきに見る身上たすけ	立教153年11月号	52
深谷 忠政	おふでさきに見る布教伝道	立教153年12月号	56
岩田 春雄	真の生き方をもとめる「おふでさき」と共にある日々(対談) 1-	立教154年1月号	
中島 秀夫/岩 田 春雄	真の生き方を求める「おふでさきと」と共にある日々 Ⅱ	立教154年1月号	
天理教道友社編	天理教の特質	立教154年2月号	18-61
宗教事情調査研 究会編	天理教の啓示について〔その1~その3〕	立教154年6月号--8月号	[その 1] 56-5
早田 一郎	文書布教の百年1-13	立教154年12月号	8
天理教道友社編	教史点描 第1回~第21回	立教155年5月号~立教157年4月号	
宗教事情調査研 究会	真柱の理について	立教155年7月号	28
天理教道友社編	続天理教の特質	立教155年10月号	
今村 俊三	最近の異端的動向について	立教155年12月号	62
澤井 勇一	成人の歩みへのステップ	立教156年2月号	17

『みちのとも』誌の記事

著者名	論文名(タイトル)	号数	掲載頁数
池田 士郎	教祖ひながたにみる「貧」・再考	立教156年5月号	10
佐藤 浩司	身に付けた教理を日常に実践すること	立教156年6月号	10
澤井 勇一	「神」「月」「日」をやにこめられた親心	立教156年10月号	5
中島 秀夫	この世は親神のメッセージに満ちて	立教156年10月号	8
宮田 元	温かい親心がたすけの推進力に	立教156年10月号	11
澤井 義次	生まれかわりして陽気ぐらし世界へ	立教156年10月号	14
橋本 武人	「皆んな勇ましてこそ」のレベル到達へ	立教156年10月号	21
安井 幹夫	陽気遊山としての「はたらき」	立教156年10月号	25
辻井 正和	常に人間の生き方と結びつけて考える	立教156年10月号	29
伊橋 房和	子供を責めるのではなく自らの反省から	立教156年10月号	32
澤井 義則	互いたすけ合いが本来の生き方	立教156年10月号	36
山本 欣旦	神からのかりもので心を映す鏡	立教156年10月号	39
宮崎 道雄	調節機能一つ一つに妙なる神の思惑	立教156年10月号	43
早坂 正章	年祭ごとに独自の祭儀式の整備へ	立教156年10月号	46
矢持 辰三	「二十六日」の理について	立教156年11月号	5
井上 昭夫	一人ひとりの年祭に向けて	立教156年12月号	58
澤井 義次	人間の本来のあり方としての「陽気ぐらし」	立教157年1月号	4
田邊 教一	陽気ぐらしの世界	立教157年1月号	7
澤井 勇一	「おさしづ」にみる陽気ぐらし	立教157年1月号	12
笹田 勝之	「みかぐらうた」にみる陽気ぐらし世界	立教157年1月号	14
金子 圭助	教祖の「陽気ぐらし」像	立教157年1月号	16
中島 秀夫	元の理の話を読みふかめるために	立教157年4月号	63
佐藤 浩司	「こふきをつくれ」	立教157年6月号	57
澤井 義次	「かしもの・かりもの」	立教157年7月号	55
橋本 武人	地と天とを象りて	立教157年8月号	59
宮田 元	陽気ぐらしを求めて	立教157年9月号	59
芝 太郎	私にとっての「元の理」	立教157年10月号	57
早坂 正章/澤井義則	教祖今なお 1-10	立教158年1月号	
中島 秀夫	現代の宗教事情と布教伝道	立教158年8月号	50
芹澤 茂	たすけへの参加	立教158年8月号	54
澤井 義次	現代社会における宗教の動向	立教158年9月号	52
辻井 正和	現代社会における天理教の布教伝道	立教158年9月号	56
澤井 義則	一人ひとりの成人を目指して	立教158年11月号	44-47
佐藤 孝則	いま求められている生きかた	立教158年11月号	48-51
堀内みどり	原典に見る親子・夫婦	立教159年1月号	56-59
幡鎌 一弘	現代社会における家庭	立教159年1月号	52-55
中 純子	ひのきしんの教えと実践	立教159年2月号	50-53
玉置 長衛	「たすけ」の道場としての教会	立教159年2月号	54-57
佐藤 浩司	現代社会におけるたすけ	立教159年3月号	52
植田 平一	世界たすけをめざして	立教159年3月号	56
澤井 義次	生の根元とその自覚 1回～12回	立教159年4月号-立教160年3月号	
中島 秀夫	人間の心づかい - ほこりの教理 -	立教160年1月号	54-57
佐藤 浩司	人間の死とその意義 - 出直しの教理 -	立教160年2月号	58-61
植田 平一	人間の救済とその根拠 - 心の成人と陽気ぐらし -	立教160年3月号	58-61
佐藤 孝則	葉の一枚 - 環境問題を解決するための一つのキーワード -	立教160年5月号	42-45
笹田 勝之	世界のふしん - 教会のあり方・よふぼくのあり方	立教160年6月号	56-59
澤井 義則	朝起き・正直・働き - 陽気ぐらしの生活倫理 -	立教160年7月号	28-31
堀内みどり	夫婦そろって	立教160年8月号	58-61
澤井 義次	身の内神のかしもの・かりもの	立教160年9月号	58-61
宮田 元	ここはこの世の極楽	立教160年10月号	54-57
岡田 正彦	「救ける理が救かる」	立教160年11月号	62-65
早坂 正章	みな吉い日 - 俗信からの解放 -	立教160年12月号	54-57
佐藤 浩司	女松男松の隔てなし	立教161年1月号	18-21
中島 秀夫	ふしあって芽 - 転換の思考 -	立教161年2月号	26-29
辻井 正和	一れつは皆きょうだい	立教161年3月号	60-63
佐藤 浩司	教祖のひながたについて	立教161年4月号	44-47
辻井 正和	「一粒万倍」	立教161年5月号	26-29
佐藤 孝則	物は大切に	立教161年6月号	44-47
芹澤 茂	早く帰っておいで	立教161年7月号	58-61
岸 義治	天に届く理 - 三つのポイントと四つの言語表現を通して -	立教161年8月号	56-59
深川 治道	人を救けるのやで	立教161年9月号	22-25
澤井 義次	皆、丸い心で	立教161年10月号	58-61
堀内みどり	種を蒔くのやで	立教161年11月号	58-61
幡鎌 一弘	ふしから芽がでる	立教161年12月号	56-59
山口 渡	「おかきさげ」を味わう1	立教162年1月号	
中島 秀夫	目に見えん徳	立教162年1月号	54-57

『みちのとも』誌の記事

著者名	論文名(タイトル)	号数	掲載頁数
澤井 義則	水を飲めば水の味がする	立教162年2月号	56-59
橋本 武人	皆んな勇ましてこそ	立教162年3月号	56-59
辻井 正和	知恵と文字の仕込み - 環境問題と科学技術 -	立教162年6月号	62-65
澤井 義則	互い立て合いたすけ合い - 環境問題と宗教 -	立教162年7月号	56-59
岡田 正彦	親の教が届かんのや - 一九六「子供の成人」 -	立教163年7月号	54-57
澤井 義次	慎みが理、慎みが往還 - 環境問題と倫理 -	立教162年8月号	20-23
堀内みどり	女松男松の隔てなし - 環境問題と女性 -	立教162年9月号	46-49
佐藤 孝則	ふしから芽がでる - 環境問題と生態系 -	立教162年11月号	60-63
上田嘉太郎	八つのほこりの説き分け ~	立教年162月12号 ~ 立教163年4月号	28-32
安井 幹夫	おふでさきを学習する1-	立教163年4月号	
堀内みどり	夫婦の心が台や - 一八九「夫婦の心」 -	立教163年6月号	62-65
深川 治道	一番悪いのを - 一六〇「柿選び」 -	立教163年9月号	60-63
幡鎌 一弘	兄弟ならば - 一六三「兄弟の中の兄弟」 -	立教163年10月号	58-61
澤井 義則	人を相手にせずに - 一六六「自分一人で」 -	立教163年11月号	62-65
佐藤 浩司	たすけと信仰 - 42「人を救けたら」 -	立教164年6月号	58-61
佐藤 孝則	天然自然と信仰 - 17「天然自然」 -	立教164年7月号	52-55
芹澤 茂	子供と信仰 - 49「素直な心」 -	立教164年9月号	54-57
岸 義治	末代と信仰 - 41「末代にかけて」 -	立教164年10月号	60-63
中島 秀夫	心と信仰 - 26「麻と絹と木綿の話」 -	立教164年11月号	54-57
澤井 義次	家族と信仰 - 16「子供が親のために」 -	立教164年12月号	52-55
井上 昭夫	世界たすけへ向けて - 3「内蔵」 -	立教165年1月号	54-57
堀内みどり	神一条の心 - 74「神の理を立てる」 -	立教165年7月号	52-55
岡田 正彦	澄んだ心 - 69「弟さんは、尚もほしい」 -	立教165年8月号	58-61
幡鎌 一弘	続く理 - 90「一代より二代」 -	立教165年9月号	54-57
深川 治道	親心 - 82「ヨイショ」 -	立教165年11月号	52-55
森 洋明	信心 - 95「道の二百里も」 -	立教165年12月号	52-55
澤井 義則	神の楽しみ - 87「人が好くから」 -	立教166年1月号	52-55
野口 茂	勇み心 - 84「南半国」 -	立教166年3月号	56-59
宮田 元	真実の心 - 86「大きなたすけ」 -	立教166年4月号	54-57
佐藤 浩司	「みち」	立教166年7月号	52-55
森 洋明	「よふぎ」	立教166年8月号	56-59
澤井 義次	「ふしぎ」	立教166年9月号	48-51
堀内みどり	「やまい」	立教166年10月号	58-61
金子 昭	「はたらき」	立教166年11月号	52-55
佐藤 孝則	「にをい」	立教166年12月号	52-55
岡田 正彦	「ほこり」	立教167年1月号	58-61
野口 茂	「いさみ」	立教167年2月号	50-53
幡鎌 一弘	「せかい」	立教167年3月号	50-53
澤井 義則	「こころ」	立教167年4月号	46-49
宮田 元	「いんねん」	立教167年5月号	52-55
井上 昭夫	「もと」	立教167年6月号	46-49
佐藤 浩司	信仰と喜び - 105「ここは喜ぶ所」 -	立教167年7月号	50-53
佐藤 孝則	信仰と生活 - 124「鮑屑の紐」 -	立教167年8月号	44-47
澤井 義次	信仰と言葉 - 137「言葉一つ」 -	立教167年9月号	52-55
芹澤 茂	信仰と楽しみ - 142「狭いのが楽しみ」 -	立教167年11月号	52-55
金子 昭	信仰と経営 - 104「信心はな」 -	立教167年12月号	50-52
深川 治道	信仰と倫理 - 130「小さな埃は」 -	立教168年1月号	58-61
井上 昭夫	信仰と道 108「登る道は幾筋も」	立教168年2月号	50-53